

第158号

昭和39年11月17日発行所 宮崎県東郷村役 東郷村役

九月定例村議会報告書(二)

一、質問と答弁

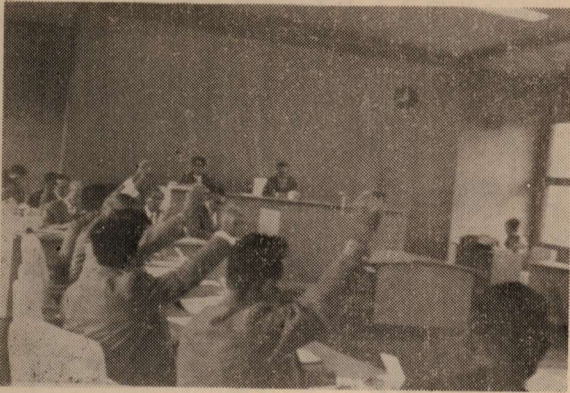
新名成議員 離農者の対策について小さいことであるが昨年或る県で従業者五〇〇〇〇人程度の工場を四四誘致して県外就職者四、四〇〇〇名を止め得たというのを聞かされたが本村としても立地条件が叶えばこのような小規模の工場を誘致できるのではないかと考えたのである。次に婦協の件については責任者となる者が減るといふことにはその裏に何かあるのではないかと考えられる。十分の教育委員会に於て研究の要があると思ふ。青少年教育の件も一応了承できが現在社会教育主任は一名欠員で一人でやっておりますが、この点も十分考慮していただきたい。次に仲ノ原の工業用水分水地の工事も

来月でいよいよ完成と聞くが同地区附近の美化について県に話し合をしたことがあるかどうか伺いたい。黒木村長 県の建設局長に申し入れをしており近く美化作業が始まられることになっている。笠瀬清美議員 又江野地区の護岸改修工事は昨年十二月の定例会で一部地元負担で年次計画で局部改修の計画と聞いたがその後どうなっているか。次に農業構造改善事業に關連して農家経営維持資金の利子補助について五〇〇万円に対する七分三厘であるがこの主旨と一般農民に周知の方法並にどの程度貸付をうけていくか伺いたい。黒木村長 又江野地区護岸の改修は昨年申し上げたとおり年次計画で実施しており本年度大体一〇〇万円程度の工事量となっている。御承知のように現在又江野地区は道路の拡充工事中で派出所下附近から農協附近まで

を以てしても軌道に乗ることができず中途で挫折したという農家も従来方々にあるのでこれらの農家を實際に軌道に乗せるまでの維持資金として貸付けを行うことと東郷農協、寺迫農協、美津農協から集まって貰い貸付の規則を制定していただいた次第である。貸付の条件、限度等は規則に明記されている。一般農民に対する周知方法としては区長会に説明し組合長に詳しく印刷配布して末端までの周知徹底を図っている。現在の借入者はまだ一名もない様である。

二、昭和三十八年度決算に係る主要な施策の成果に關する概況説明書 会計国民健康保険事業勘定で二〇五、八五五(一、〇四%)、同じく診療施設勘定で二七、〇八三(四、七%)と全般に逐年増加の傾向にあり村民一人当たり各会計合計で才入一、〇六四、才出一、〇二二となり前年度と比べると才入で一、二三五、才出で八〇八円増加している。このことは昭和三十三年から昭和三十七年度まで過去五年間の決算額の平均を一〇一、四七(前年度一五二)と一四七(前年度一五四)とを比較すると一五四と一四七の差額、つまり形式収支の状況は一般会計一五、六七八、五二七、特別会計国民健康保険事業勘定才入一四、〇四四、才出一四、〇四四、二七四円差引一、六七〇、二五八円各会計の決算規模を昭和三十七年度決算と比較すると、才入においては一般会計で、一三、八五八、七九二円(一三、二%)、特別

議会寸景



全会一致で可決

質収支は一般会計一、五〇〇、三〇三、特別会計国民健康保険事業勘定△三、八二六、六六六、同診療施設勘定△八三三、三二二、となり独立採算を原則とする特別会計においては、その運用に今後更に意を用いる必要がある。 ①村税 村税の才入総計に對する収入割合は前年度の一七・一四%に比し三十八年度は一六・八三%純化した。この傾向は近年引続いての現象であり村民の平準化に伴う本支分式への統一等更にこの状態は続くものと思われる。村税の収入を増大し税収が

名実ともに村の基本的才入の根幹となる為には村民所得の飛躍的伸びに期待し又国の地方税制改革に待たなければ実現出来ないが、現段階としては抜本的手段として課税客体の適正把握と村税滞納の防止に努力を傾注した。既ち昭和三十八年度は固定資産評価替への基準年度に當るため資金五九千円と税務職員年間事務量の二五%の努力を投入し課税客体把握のための固定資産の評価を実施した。 村税滞納防止の基本的方針としては現年度分を優先して徴収することと滞納の累積を防止し、滞納繰越分の徴収については滞納の原因を究明して納税義務者と納得つて納税と納得つて納税の確立と負担区分の明確化に意を用い住民の税外負担の軽減に努めた。 一、産業経済部 ①農業費 農業の基盤を整備し、主産地を育成し、近代的な自立経営農家を育成するため編成された予算の執行をなしたがその主なものを挙げれば次のとおりである。 (1)主なる予算 ①土じょう病害虫防除の徹底 ②果樹及び特用作物の栽培推進 ③農業近代化推進のための制度金融に對する利子補助 ④経済団体及びその他関係団体の育成強化 以上まとめて農業費の決算額が四、六六六、〇〇〇円増したが、その中で果樹共同防除施設補助二八〇千円が未執行となつたのは四十年に於いて実施せんとする農業構造改善事業の中で行なうよう延期したためである。 (5)林業費 ①未確定であった農村電気導入補助、東郷村農業協同組合整備借入金利子補助その他については、それぞれ適当なる金額を追加して事業の執行をなした。 (2)昭和三十八年度産米の収穫

昭和38年度税目別徴収実績

Table with columns: 税目, 調定額, 収入済額, 徴収率, 同左の内訳, 滞納繰越, 納分. Rows include 村民税, 固定資産税, 軽自動車税, たばこ消費税, 電気ガス税, 木材引取税, 国民健康保険税.

②地方交付税 当初予算額三四、〇〇〇、〇〇〇円に對して決算額は四四、六六六、〇〇〇円と一〇、六六六、〇〇〇円増したが、これはこの数年來毎年度実施される公務員の給与改訂に要する経費の増大、一面には地方公共団体の行政水準の向上を図る趣旨から基準財政需用額の引上げによるもの、及び特別地方交付税の見積り外増収である。 (3)公営企業及び財産収入 予算額一、二八五、〇〇〇、〇〇〇円に對して決算額は二、〇九九、九六〇、〇〇〇円と大巾に収入が増加しているが、その殆んどが立木売却代金収入であり、これは又その大部分を官行造林分収

紅葉の歌

秋水

渓川の真白川原にわれ等もて うちたたへたり山の紅葉を もみぢ葉のいま照りにほふ秋山の 澄みぬる姿さびしとぞ見し かげりつめたき森のもみぢ葉

普通水稲

45ha x 280kg = 1,260t

①土じょう病害虫防除の徹底 ②果樹及び特用作物の栽培推進 ③農業近代化推進のための制度金融に對する利子補助 ④経済団体及びその他関係団体の育成強化

⑤林業費 ①未確定であった農村電気導入補助、東郷村農業協同組合整備借入金利子補助その他については、それぞれ適当なる金額を追加して事業の執行をなした。 (2)昭和三十八年度産米の収穫

①土じょう病害虫防除の徹底 ②果樹及び特用作物の栽培推進 ③農業近代化推進のための制度金融に對する利子補助 ④経済団体及びその他関係団体の育成強化 以上まとめて農業費の決算額が四、六六六、〇〇〇円増したが、その中で果樹共同防除施設補助二八〇千円が未執行となつたのは四十年に於いて実施せんとする農業構造改善事業の中で行なうよう延期したためである。 (5)林業費 ①未確定であった農村電気導入補助、東郷村農業協同組合整備借入金利子補助その他については、それぞれ適当なる金額を追加して事業の執行をなした。 (2)昭和三十八年度産米の収穫

①土じょう病害虫防除の徹底 ②果樹及び特用作物の栽培推進 ③農業近代化推進のための制度金融に對する利子補助 ④経済団体及びその他関係団体の育成強化 以上まとめて農業費の決算額が四、六六六、〇〇〇円増したが、その中で果樹共同防除施設補助二八〇千円が未執行となつたのは四十年に於いて実施せんとする農業構造改善事業の中で行なうよう延期したためである。 (5)林業費 ①未確定であった農村電気導入補助、東郷村農業協同組合整備借入金利子補助その他については、それぞれ適当なる金額を追加して事業の執行をなした。 (2)昭和三十八年度産米の収穫

①土じょう病害虫防除の徹底 ②果樹及び特用作物の栽培推進 ③農業近代化推進のための制度金融に對する利子補助 ④経済団体及びその他関係団体の育成強化 以上まとめて農業費の決算額が四、六六六、〇〇〇円増したが、その中で果樹共同防除施設補助二八〇千円が未執行となつたのは四十年に於いて実施せんとする農業構造改善事業の中で行なうよう延期したためである。 (5)林業費 ①未確定であった農村電気導入補助、東郷村農業協同組合整備借入金利子補助その他については、それぞれ適当なる金額を追加して事業の執行をなした。 (2)昭和三十八年度産米の収穫

①土じょう病害虫防除の徹底 ②果樹及び特用作物の栽培推進 ③農業近代化推進のための制度金融に對する利子補助 ④経済団体及びその他関係団体の育成強化 以上まとめて農業費の決算額が四、六六六、〇〇〇円増したが、その中で果樹共同防除施設補助二八〇千円が未執行となつたのは四十年に於いて実施せんとする農業構造改善事業の中で行なうよう延期したためである。 (5)林業費 ①未確定であった農村電気導入補助、東郷村農業協同組合整備借入金利子補助その他については、それぞれ適当なる金額を追加して事業の執行をなした。 (2)昭和三十八年度産米の収穫

昭和三十九年度 総合文化祭開催要項

一、趣旨
東郷村文化の向上と産業の発展のため、毎年続けてきた文化祭も各団体並びに一般村民の協力により、その内容も充実し益々成果を挙げています。本年度はさらに広く一般の参加を求め、よりよい文化行事を実施して村民に発表と鑑賞の機会を与えるとともに相互の融和親睦をはかり一段と郷土の発展に努めるため総合文化祭を開催する。

二、主催
東郷村 東郷村教育委員会

三、期日
昭和三十九年十二月五日・六日

四、会場
東郷小学校、東郷中学校

五、実施方法及び内容
総合文化祭は部落文化祭と中央文化祭に分けて実施する。

(1)中央文化祭
A 展示の部
展示は部落文化祭における優秀な展示品と中央文化祭の展示品を併せ行なう。

B 実演及び相談
実演は農機具及び家庭用品相談は育児、家族計画、成人病

八、農林産品等の出品種目並びに数量

七、表彰
(1)部落文化祭は個人表彰及び団体表彰、個人特別出品物はすべて参加賞(但し審査のあるものは優等。一。二。三等)と加賞
(2)中央文化祭は個人表彰及び団体表彰、個人特別出品物はすべて参加賞(但し審査のあるものは優等。一。二。三等)と加賞
学芸品は参加賞
林産物は優等。一。二。三等と参加賞
畜産は指導展示
畜産は指導展示並びに数量

九、出品物についての注意
(1)品種名。部落名。出品者名の表示を厳重に、公民館単位にまとめて搬入のこと
(2)出品物は包装を厳重に、公民館単位にまとめて搬入のこと
十、中央文化祭に出品するものは、部落文化祭における出品品と同様、中央文化祭に出品する場合は、品種名。出品者が同じであれば、展示品は新しいものと交換して出品することができる

○(9) 農産加工品みそ(四〇〇g) しょう油(一〇〇g)

男子二〇〇m 16秒0
鶴野内 向山 幹雄
男子一、五〇〇m 25秒1(新)
寺 迫 橋口 固
男子五、〇〇〇m 4分28秒8(新)
寺 迫 黒木 恒仁
男子一〇、〇〇〇m 17分29秒4(新)
寺 迫 黒木 恒仁
男子一五、〇〇〇m 35分48秒8(新)
寺 迫 黒木 恒仁

女子二〇〇m 16秒0
鶴野内 向山 幹雄
女子一、五〇〇m 25秒1(新)
寺 迫 橋口 固
女子五、〇〇〇m 17分29秒4(新)
寺 迫 黒木 恒仁
女子一〇、〇〇〇m 35分48秒8(新)
寺 迫 黒木 恒仁

男子砲丸投
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子
女子砲丸投
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子

男子走中跳
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子
女子走中跳
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子

男子走百
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子
女子走百
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子

男子走二百
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子
女子走二百
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子

昭和三十九年度 村民体育大会成績表

継走の部

男子八〇〇m
①鶴野内 1分44秒7
②小野田 ③坪谷
女子四〇〇m
①坪谷 1分3秒5
②小野田 ③福瀬

男子年令別
①小野田 2分22秒0(新)
②仲深 ③福瀬
女子年令別
①寺迫 1分59秒7(新)
②鶴野内 ③田野
職域対抗継走
山陰郵便局 51秒2
個人記録の部
男子一〇〇m 25才未満
小野田 敬原 亀夫

男子砲丸投
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子
女子砲丸投
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子

男子走中跳
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子
女子走中跳
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子

男子走百
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子
女子走百
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子

男子走二百
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子
女子走二百
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子

男子砲丸投
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子
女子砲丸投
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子

男子走中跳
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子
女子走中跳
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子

男子走百
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子
女子走百
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子

男子走二百
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子
女子走二百
小野田 高木 佳子
小野田 高木 佳子

小野田 高木 佳子
4m 27(新)
小野田 村田 仁重
9m 85(新)

越智 溪 水選
越表 児玉 弘

川南町 長谷川亀次
行商より帰り太陽風呂に汗流すやまに日入るのいまだまあり

日向市 山本 信
電気釜のスイッチ入れは老いつきて目ざめの早きがつとめとす

川南町 日高 竹堂
あたり入江の叢虫多し秋沙魚の釣れる頃なりこの

高鍋町 佐々木久子
西陽映の防風林の十次碑に赤きカンナのひとつ咲きをり

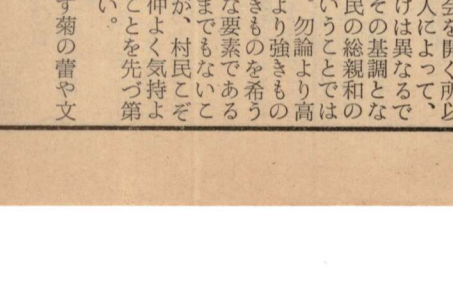
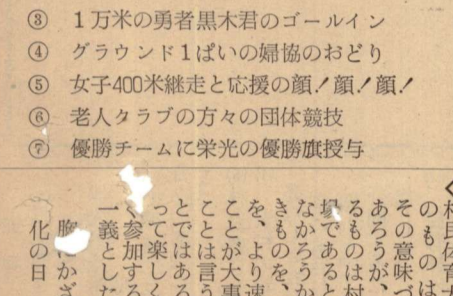
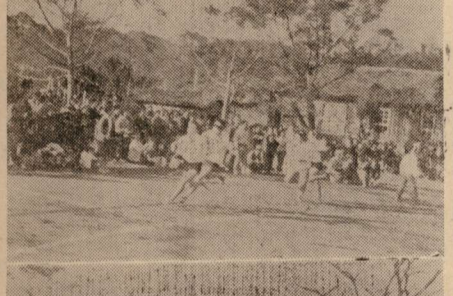
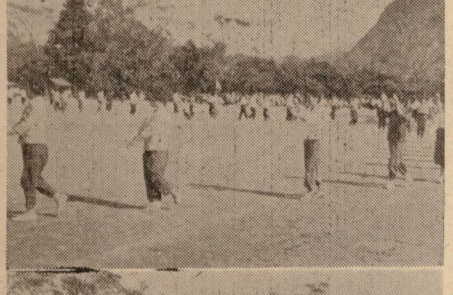
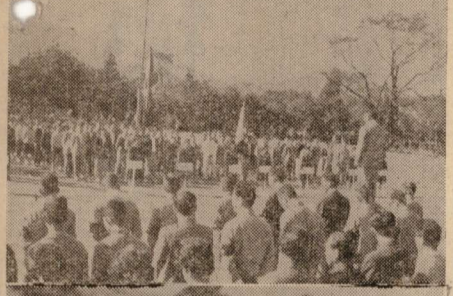
小野田 本多 茂雄
出水に荒れたる藪のひとむらに曼珠沙華の花ひと咲きわり

北郷村 甲斐 葉末
亡き夫の優しきまなざし想いつつ遺族扶助料いただき受く

坪谷中 矢野 政志
泳げる子魚追いとる子背を干す夕日おつるをいまだ気付かず

川南国立療養所 和田 裕光
木もれ陽の射し来ぬ名真井の滝の下岩肌近くボート漕ぎ行く

村民体育大会寸景



- ① 坪小の鼓笛隊を先登に堂々の入場
- ② 村民体育大会開会式
- ③ 1万米の勇者黒木君のゴールイン
- ④ グラウンド1ばいの婦協のおどり
- ⑤ 女子400米継走と応援の顔ノ顔ノ顔ノ
- ⑥ 老人クラブの方々の団体競技
- ⑦ 優勝チームに栄光の優勝旗授与

村民体育大会を開く所以のものには人によって、その意味づけは異なるであらうが、その基調となるものは村民の総親和の場であるということではなからうか。勿論より高きものを、より強きものを、より速きものを、より大事なる要素であることは言うまでもないことではあるが、村民にとって楽しく、村に貢献することを先づ第一義とした。